



Newsletter 第13号



本プロジェクトは、モンセラード州保健局（Montserrado County Health Team : MCHT）の監理能力の強化、ミニプロジェクトを通じたPDCA管理能力の向上、5S-KAIZEN-TQMを用いた郡保健局と州内の保健医療施設の組織マネジメント強化、グッドプラクティスの共有等を通して、MCHTのマネジメント能力の強化と保健サービスの改善を目指します。

第3回合同調整委員会・グッドプラクティス共有セミナーを開催しました

2024年9月18日、モンセラード州保健サービス改善・監理支援能力強化プロジェクトは、第3回合同調整委員会（JCC）を開催しました。今回のJCCでは、プロジェクト終了に向けた最終的な成果を報告するとともに、プロジェクトの成果をリベリア側でどのように継続していくかについて議論が行われました。会議には、モンセラード州知事、保健省、モンセラード州保健局（MCHT）、郡保健局、JICAガーナ事務所、JICAリベリアフィールドオフィス、JICA専門家チームなど約60名が出席しました。会議では、プロジェクトの活動成果やエンドライン調査結果が報告され、特にPDCAサイクルの活用や5S-KAIZEN活動の推進をとおり、MCHTのマネジメント能力が強化されたことが確認されました。保健省からは、プロジェクト終了後もMCHTが引き続きこれらの活動を発展させることへの重要性が表明されました。

JCC後には、プロジェクトの成果を広く共有するため、グッドプラクティス共有セミナーが開催されました。このセミナーでは、ミニプロジェクトや5S-KAIZEN活動における成功事例が発表され、参加者間での知識共有が行われました。特に、ミニプロジェクトでは、母子保健の分野での取り組みが紹介され、現場のリーダーたちが実施した活動が他の地域でも参考になることが強調されました。また、5S-KAIZEN活動では、州内の保健施設がどのように業務効率やサービスの質を向上させたかが具体的に示され、参加者からは積極的な質問やコメントが寄せられました。

セミナーの最後には、ミニプロジェクトや5S-KAIZEN活動のリーダーたちに対して表彰が行われ、彼らの功績が称えられました。プロジェクト終了に伴い、これらの成功事例が今後も広く活用され、モンセラード州で保健サービスの改善が持続的に進展していくことが期待されています。



開会の辞



閉会の辞



JCCにご出席いただいたみなさんと